

2022年7月25日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

サステナビリティ・リンク・リースの取り扱い開始、および  
ダイヤモンド電機株式会社との契約締結について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）は、広範囲の物件を対象として、お客さまのサステナビリティへの取り組みに対する目標の達成度に応じてリース料が変動するリース「サステナビリティ・リンク・リース（以下「SLL」）」の取り扱いを開始したことをお知らせします。この度第一弾として、ダイヤモンド電機株式会社（代表取締役社長：小野 有理、以下「ダイヤモンド電機」）と SLL の契約を締結しました。

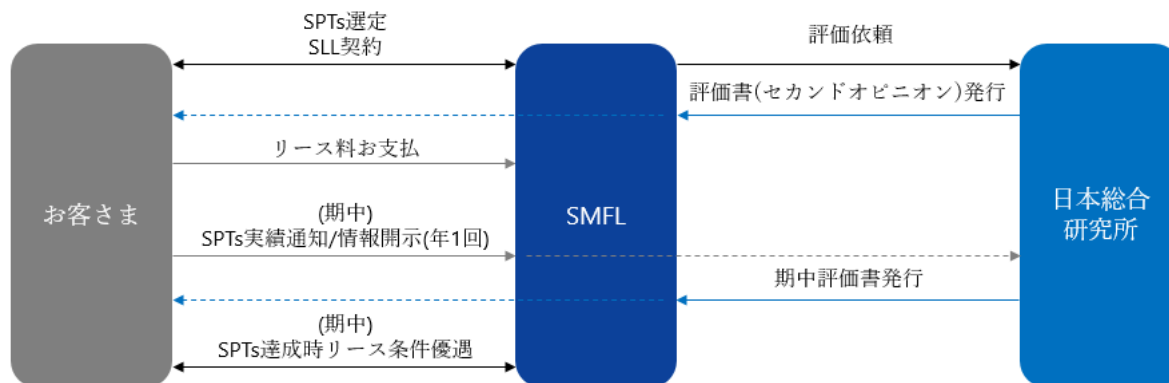
SLL は、お客さまの ESG 戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、リース条件と SPTs に対するお客さまのパフォーマンスを連携させ、SPTs を達成することで、環境面・社会面において持続可能な経済活動および経済成長を支援・促進することを目指す商品です。株式会社日本総合研究所が第三者評価機関として、サステナビリティ・リンク・ローン原則<sup>\*1</sup>に基づいた SPTs の設定および期初・期中の評価を行い、SPTs 達成時にリース条件が優遇される設定となっております。

今般のダイヤモンド電機との契約においては、持株会社であるダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社のグループ会社全体で（1）事業活動に伴う CO<sub>2</sub> 排出量（原単位）の削減、（2）CO<sub>2</sub> 削減に寄与する自社製品の販売目標に連動した CO<sub>2</sub> 削減貢献量、の 2 つの指標を SPTs として設定し、事業活動を通じて脱炭素の実現に貢献するものとなります。

SMFL は、これまで船舶を対象に、CO<sub>2</sub> 排出削減量を SPTs とするポセイドン原則<sup>\*2</sup>に連動した SLL を展開していましたが、今般、サステナビリティへの取り組みによる企業価値向上・持続可能な社会の実現を目指すお客さまを幅広く支援するために、対象物件を拡充するものです。

SMFL は、経営理念・経営方針等を示す「SMFL Way」の Our Vision（私たちの目指す姿）の一つとして「SDGs 経営で未来に選ばれる企業」を掲げています。また、「環境」「次世代」「コミュニティ」「働きがい」の 4 つを重点課題に設定し、全社活動として SDGs に取り組んでいます。これからも SDGs 達成への貢献を支援するさまざまなサービスを提供することで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

## 【SLL のスキーム図】



### ※1 サステナビリティ・リンク・ローン原則

協調融資市場（シンジケートローン・マーケット）における国際金融業界団体の LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）、APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）の3団体が、グリーンボンド原則等を運営する国際資本市場協会（International Capital Market Association）の支援を受け、2019年3月（2021年5月に改訂）に制定したものです。

### ※2 ポセイドン原則

国際海事機関が2018年4月に採択した国際海運から排出される温室効果ガスの中長期削減目標を踏まえ、海運業界の気候変動リスクへの取り組みに対して金融面から貢献することを目的に、2019年6月に欧米の11金融機関により設立されたもの。SMFLは2021年1月に参画。

以上

### 【お問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社 広報 IR 部 山本 TEL 03-5219-6334